

平成24年度普通会計決算の状況

平成24年度普通会計決算規模は、

歳入決算額 6,946億8,874万5千円

歳出決算額 6,700億1,252万円

で、前年度と比べると、歳入は約22億円の減（0.3%）、歳出は約87億円の減（1.3%）となっています。

歳入では、県税は、企業収益の持ち直し傾向などにより、総額では約7億円の増（0.6%）となっています。

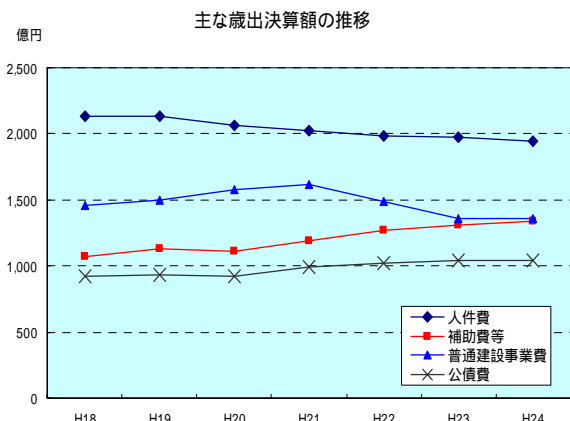
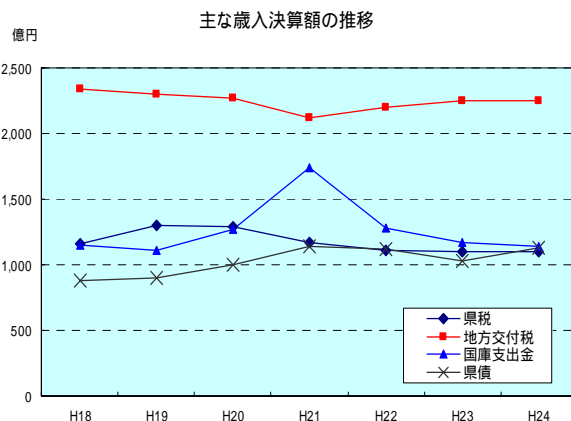
国庫支出金は、地域医療再生臨時特例交付金の減、障害児施設措置費（給付費）等負担金の減等により約32億円の減（2.8%）となっています。

県の借金である県債は、借換債を含むと約227億円の増（18.3%）となっており、借換債の影響を除く実質的な県債についても、経済対策に伴う公共事業や緊急防災・減災事業の増等により約104億円の増（10.1%）となっています。

歳出では、性質別に見ると、人件費が職員給の減等により約22億円の減（1.1%）、公債費が元利償還金の減により約4億円の減（0.4%）、扶助費が障害児施設支援費の減等により約19億円の減（7.8%）となっており、これらを合わせた義務的経費は前年度より約45億円の減（1.4%）となっています。

また、普通建設事業費が単独事業の減少等に伴い約4億円の減（0.3%）となっていますが、災害復旧事業費が補助事業の増等に伴い約9億円の増（84.1%）となっており、投資的経費は全体として約5億円の増（0.4%）となっています。

その他、貸付金が中小企業の資金繰り支援のための貸付金の減少等により約50億円の減（11.6%）となっています。



普通会計決算状況累年比較

(単位：千円)

区分	年度	19	20	21	22	23	24
1 歳入総額 A		671,035,804	716,042,874	758,780,599	717,187,118	696,864,737	694,688,745
2 歳出総額 B		655,839,813	698,591,081	738,067,537	693,581,984	678,697,990	670,012,520
3 差引 (A - B) C		15,195,991	17,451,793	20,713,062	23,605,134	18,166,747	24,676,225
4 翌年度へ繰越すべき財源 (D ~ G) H		14,695,037	16,619,490	19,303,542	22,492,739	17,317,276	24,418,416
(1) 予算繰越額 D		11,576,650	13,267,938	16,255,778	19,286,258	14,652,772	22,268,258
(2) 事故繰越額 E		25,542	249,000		61,836	234,000	64,631
(3) 事業繰越額 F		3,092,845	3,102,552	3,047,764	3,144,645	2,430,504	2,085,527
(4) 支払繰延額 G							
5 実質収支 (C - H)		500,954	832,303	1,409,520	1,112,395	849,471	257,809
6 単年度収支		118,304	331,349	577,217	297,125	262,924	591,662

〔目的別〕

歳出決算額累年比較 (普通会計)

(単位：百万円)

区分	年度		19		20		21		22		23		24	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成
1 議会費	1,273	0.2	1,323	0.2	1,247	0.2	1,216	0.2	1,355	0.2	1,256	0.2		
2 総務費	37,388	5.7	31,577	4.5	39,819	5.4	32,990	4.8	30,428	4.5	30,085	4.5		
3 民生費	74,523	11.4	79,965	11.4	100,095	13.6	92,061	13.3	96,220	14.2	103,045	15.4		
4 衛生費	23,123	3.5	25,221	3.6	34,552	4.7	28,683	4.1	31,431	4.6	24,240	3.6		
5 労働費	1,863	0.3	9,962	1.4	11,104	1.5	10,333	1.5	12,817	1.9	9,422	1.4		
6 農林水産業費	63,122	9.6	67,219	9.6	64,850	8.8	55,829	8.0	53,461	7.9	51,779	7.7		
7 商工費	40,393	6.2	76,265	10.9	70,394	9.5	61,657	8.9	52,739	7.8	50,418	7.5		
8 土木費	93,359	14.2	97,878	14.0	98,624	13.4	95,599	13.8	83,505	12.3	85,387	12.7		
9 警察費	44,582	6.8	42,625	6.1	43,253	5.9	40,270	5.8	40,238	5.9	39,256	5.9		
10 教育費	160,568	24.5	157,223	22.5	157,847	21.4	155,869	22.5	155,861	23.0	153,872	23.0		
11 災害復旧費	4,262	0.6	667	0.1	883	0.1	1,123	0.2	1,085	0.2	1,997	0.3		
12 公債費	93,071	14.2	91,969	13.2	99,195	13.4	102,093	14.7	104,129	15.3	103,759	15.5		
13 諸支出金	933	0.1	867	0.1	821	0.1	826	0.1	809	0.1	757	0.1		
14 その他	17,380	2.7	15,830	2.3	15,384	2.1	15,033	2.2	14,621	2.2	14,740	2.2		
合計	655,840	100.0	698,591	100.0	738,068	100.0	693,582	100.0	678,698	100.0	670,013	100.0		

歳出決算額累年比較（普通会計）〔性質別〕

（単位：百万円）

区分	18		19		20		21		22		23		24	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成
1 人件費	213,466	33.1	213,174	32.5	206,550	29.6	202,263	27.4	198,425	28.6	197,103	29.0	194,918	29.1
2 物件費	16,118	2.5	15,640	2.4	15,363	2.2	17,518	2.4	18,616	2.7	19,971	2.9	18,421	2.7
3 維持補修費	4,425	0.7	4,427	0.7	4,775	0.7	6,070	0.8	5,588	0.8	5,285	0.8	5,666	0.8
4 扶助費	22,437	3.5	22,140	3.4	22,650	3.2	23,058	3.1	24,853	3.6	25,104	3.7	23,148	3.5
5 補助費等	107,527	16.7	112,925	17.2	111,479	16.0	118,877	16.1	126,544	18.2	130,658	19.3	133,464	19.9
6 普通建設事業費	145,650	22.6	149,480	22.8	153,753	22.0	161,185	21.8	148,849	21.5	135,872	20.0	135,461	20.2
(1) 補助事業費	88,646	13.8	87,265	13.3	90,839	13.0	94,131	12.8	76,604	11.0	73,383	10.8	78,079	11.7
(2) 単独事業費	44,474	6.9	48,720	7.4	44,824	6.4	52,329	7.1	62,727	9.0	54,098	8.0	49,119	7.3
(3) 国直轄事業負担金	9,769	1.5	10,307	1.6	15,955	2.3	11,275	1.5	7,833	1.1	6,879	1.0	6,800	1.0
(4) 受託事業費	2,761	0.4	3,188	0.5	2,135	0.3	3,450	0.5	1,685	0.2	1,512	0.2	1,463	0.2
7 災害復旧事業費	4,270	0.7	4,262	0.6	667	0.1	883	0.1	1,123	0.2	1,085	0.2	1,997	0.3
(1) 補助事業費	4,040	0.6	4,247	0.6	661	0.1	870	0.1	1,112	0.2	1,085	0.2	1,962	0.3
(2) 単独事業費	230	0.0	15	0.0	6	0.0	13	0.0	11	0.0	0	0.0	34	0.0
(3) 国直轄事業負担金														
(4) 受託事業費														
8 失業対策事業費														
(1) 補助事業費														
(2) 単独事業費														
9 公債費	92,156	14.3	93,021	14.2	91,911	13.2	99,130	13.4	102,093	14.7	104,128	15.3	103,759	15.5
10 積立金	7,013	1.1	6,341	1.0	21,027	3.0	49,863	6.8	14,967	2.2	14,837	2.2	14,669	2.2
11 投資及び出資金	160	0.0	97	0.0	136	0.0	50	0.0	49	0.0	1,170	0.2	41	0.0
12 貸付金	29,966	4.6	33,208	5.1	69,349	9.9	58,484	7.9	51,605	7.4	42,764	6.3	37,810	5.6
13 繰出金	1,359	0.2	1,125	0.2	931	0.1	687	0.1	868	0.1	719	0.1	659	0.1
合計	644,547	100.0	655,840	100.0	698,591	100.0	738,068	100.0	693,582	100.0	678,698	100.0	670,013	100.0

歳入決算額累年比較（普通会計）

（単位：百万円）

区分	19		20		21		22		23		24	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成
1 地方税	130,191	19.4	129,108	18.0	117,252	15.5	110,775	15.4	109,856	15.8	110,549	15.9
2 地方譲与税	2,471	0.4	2,250	0.3	9,327	1.2	17,801	2.5	18,499	2.7	18,994	2.7
(1) 所得譲与税												
(2) 地方揮発油 譲与税					1,312	0.2	2,264	0.3	2,072	0.3	2,113	0.3
(3) 地方道路 譲与税	2,297	0.3	2,086	0.3	901	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(4) 石油ガス 譲与税	159	0.0	147	0.0	140	0.0	141	0.0	129	0.0	123	0.0
(5) 航空機燃料 譲与税	15	0.0	17	0.0	19	0.0	18	0.0	17	0.0	16	0.0
(6) 地方法人特別 譲与税					6,956	0.9	15,378	2.1	16,281	2.3	16,743	2.4
3 地方特例交付金等	1,041	0.2	1,932	0.3	1,280	0.2	1,908	0.3	1,549	0.2	329	0.0
4 地方交付税	230,453	34.3	226,777	31.7	212,301	28.0	219,669	30.6	225,195	32.3	224,726	32.3
(1) 普通交付税	227,603	33.9	223,697	31.2	209,156	27.6	216,366	30.2	220,686	31.7	221,332	31.9
(2) 特別交付税	2,850	0.4	3,080	0.4	3,145	0.4	3,302	0.5	4,472	0.6	3,256	0.5
(3) 震災復興特別 交付税									37	0.0	139	0.0
5 交通安全対策特別 交付金	534	0.1	484	0.1	491	0.1	479	0.1	470	0.1	463	0.1
6 分・負担金	5,883	0.9	9,803	1.4	5,209	0.7	6,761	0.9	4,924	0.7	5,444	0.8
7 使用料	9,074	1.4	9,088	1.3	9,006	1.2	5,880	0.8	5,989	0.9	5,976	0.9
8 手数料	2,406	0.4	2,368	0.3	2,444	0.3	2,392	0.3	2,316	0.3	2,268	0.3
9 国庫支出金	110,637	16.5	127,071	17.7	173,795	22.9	128,033	17.9	117,311	16.8	114,077	16.4
10 財産収入	3,252	0.5	3,509	0.5	2,787	0.4	2,376	0.3	2,658	0.4	2,332	0.3
11 寄附金	6	0.0	31	0.0	25	0.0	208	0.0	11	0.0	43	0.0
12 繰入金	16,039	2.4	18,801	2.6	18,160	2.4	23,155	3.2	26,646	3.8	28,536	4.1
13 繰越金	21,835	3.3	15,196	2.1	17,452	2.3	20,713	2.9	23,605	3.4	18,167	2.6
14 諸収入	47,652	7.1	69,942	9.8	75,442	9.9	64,957	9.1	54,864	7.9	49,381	7.1
15 地方債	89,562	13.3	99,683	13.9	113,809	15.0	112,081	15.6	102,972	14.8	113,403	16.3
合計	671,036	100.0	716,043	100.0	758,780	100.0	717,188	100.0	696,865	100.0	694,688	100.0
自主財源 1,6,7,8,10～14	236,338	35.2	257,846	36.0	247,777	32.7	237,217	33.1	230,869	33.1	222,696	32.1
依存財源 2,3,4,5,9,15	434,698	64.8	458,197	64.0	511,003	67.3	479,971	66.9	465,996	66.9	471,992	67.9

建設事業費累年比較（普通会計）

（単位：百万円、％）

年度 区分	19		20		21		22		23		24	
	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率
1 普通建設事業費	149,480	2.6	153,753	2.9	161,185	4.8	148,849	7.7	135,872	8.7	135,461	0.3
(1) 補助事業費	87,265	1.6	90,839	4.1	94,131	3.6	76,604	18.6	73,383	4.2	78,079	6.4
(2) 単独事業費	48,720	9.5	44,824	8.0	52,329	16.7	62,727	19.9	54,098	13.8	49,119	9.2
(3) 国直轄事業 負担金	10,307	5.5	15,955	54.8	11,275	29.3	7,833	30.5	6,879	12.2	6,800	1.1
(4) 受託事業費	3,188	15.5	2,135	33.0	3,450	61.6	1,685	51.2	1,512	10.3	1,463	3.2
2 災害復旧事業費	4,262	0.2	667	84.4	882	32.2	1,123	27.3	1,085	3.4	1,997	84.1
(1) 補助事業費	4,247	5.1	661	84.4	870	31.6	1,112	27.8	1,085	2.4	1,963	80.9
(2) 単独事業費	15	93.5	6	60.0	12	100.0	11	8.3	0	皆減	34	皆増
(3) 国直轄事業 負担金												
(4) 受託事業費												
3 失業対策事業費												
(1) 補助事業費												
(2) 単独事業費												
合 計	153,742	2.5	154,420	2.5	162,067	5.0	149,973	7.5	136,957	8.7	137,458	0.4

主要財政指標累年比較

(単位：%)

区分		年度					
		19	20	21	22	23	24
経常収支比率	長崎	98.9	98.3	97.2	93.7	95.8	96.2
	全国	96.7	95.3	95.2	90.9	93.9	94.1
自主財源比率	長崎	35.2	36.0	32.7	33.1	33.1	32.1
	全国	50.1	48.1	42.0	41.1	43.3	43.5
実質公債費比率	長崎	10.2	10.1	11.4	12.8	14.2	14.3
	全国	13.5	12.8	13.0	13.5	13.9	13.7
将来負担比率	長崎	-	201.2	197.3	183.0	185.9	192.1
	全国	-	219.3	229.2	220.8	217.5	210.5

経常収支比率

人件費・扶助費・公債費など、その性質上毎年度経常的に発生する経費に対して、県税や普通交付税などの経常的に収入される一般財源等がどの程度充てられたかをみる指標です。

この比率が低いほど、建設事業費などの臨時的経費に充当できる一般財源等に余裕があり、財政構造の弾力性に富んでいることになります。

自主財源比率

県税などの自力で確保できる収入（自主財源）が歳入総額に占める割合をいいます。

自主財源とは、県税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入をいいます。

実質公債費比率

地方債制度が「許可制度」から「協議制度」に移行するに当たって設けられた比率で、従来の起債制限比率に含まれていなかった公営企業や一部事務組合の公債費に充てるための繰出金・負担金を含めた、県の実質的な公債費負担を示す指標です。

地方債の「協議制度」の下では、県は総務大臣に協議すれば、原則として自由に地方債を発行できますが、実質公債費比率が18%以上の団体については、引き続き地方債の発行に許可を要します。

また、実質公債費比率が25%以上の団体については、起債の制限を受けることになります。

将来負担比率

地方債残高や公社・第三セクター等の負債額、公営企業繰出金などの合算額から、地方交付税算入額や充当可能基金残高等を差し引いた将来にわたる実質的な負担額が、地方交付税算入額を除く標準財政規模に対して、どの程度の比率であるかを示したものです。

将来負担比率が400%以上の団体については、早期健全化の対象となります。